令和５年度　北海道旭川南高等学校　シラバス

教科名	科目名	年次	単位	年間予定時間	担当
地理歴史	地理総合	1	2	70	後藤･白鳥

年間指導計画

前期中間　時数	前期期末　時数	後期中間　時数	後期期末　時数
14	20	18	18

授業の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習方法

１．予習・復習（ノート整理・休暇中の課題)をきちんとするをする。
２．年間数回の小テストで基礎知識の習得を図る。
３．単元ごとに配布される授業復習プリントを用い、内容の理解を深める。

教科書・教材

教科書：高等学校　新地理総合(帝国書院)　新詳高等地図(帝国書院)
副教材：高等学校新地理総合ノート　デジタル版（クラウド配信）(帝国書院)

評価の観点・規準・方法

評価の観点	評価規準（到達目標）	割合	評価の方法
ア:知識・技能	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	40%	定期考査 小テスト
イ：思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的･多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	40%	定期考査 提出物(作業プリント)
ウ: 主体的に学習に取組む態度	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	20%	小テスト 提出物

その他・備考

地理歴史科の必修科目で、２年次で履修する歴史総合や公民科の公共と共に全員履修科目です。また大学入試共通テストにもかかわるので一生懸命取り組んでいきましょう。また文系の選択科目地理探究につながる基礎科目になります。